

1 2 3 4 5 6 7 8 9 21

日一月一十年四正大

# 報情外内

號七十五百第

## 目次

禁非  
載品

### 馬來半島

本年九月度英領馬來護照輸出高……………三〇

一九二六年度護照生產消費量推想……………三

### 蘭領東印度

一九二三年度蘭領東印度の油椰子  
煙草及咖啡栽培面積(二)……………三

スマトラ東海岸州のゴブラの産額……………三

### 英領印度

英領印度の農業組織……………三

緬甸の發展策……………四

### 其他

世界護照の供給關係と價格問題……………六

一九一八—二三年以降英領馬來護照  
栽培面積表……………(二頁)

### 支那

上海兩商會の裁厘加税に對する意見……………一

五省聯盟の離障……………四

舊直隸系活動の泡影見ゆ……………六

浙江省内に駐屯する軍隊數……………七

福建周督理の浙江援助準備……………八

香港政府軍艦にて航線を巡視す……………〇

廣東及汕頭情報……………〇

東江再戦の兩軍陣地……………三

支那の外紙輸入狀況(F)……………五

### 比律賓

比島糖業の今昔(上)……………三

佛領印度支那……………三

一九二四年度糖業一斑……………六

課查調房官督總灣臺

□一九一八—一九二三年以降英領馬來護謨栽培面積表 其一 (單位英尺)

地方別	一九一八年	一九一九年	一九二〇年	一九二二年	一九二三年	一九二三年以降
馬來聯邦州	四〇〇八	二四六五	二九二五	八四五	一七四	六三二
歐洲人農園	七九五	四三三	二六四	一七三	四〇	一三六
亞細亞人農園	四六三	二六五	三九五	九七七	二七四	七五七
小計	一七六六	一〇六三	一三二九	一〇一七	二八四	一五二五
海峽植民地	二八三	一三三	二五八	八三〇	一六九	七四七
歐洲人農園	九六三	四三三	一三六	二九	八	六八五
亞細亞人農園	一七五	一三六	一三六	二九	八	七四七
小計	一七五	一三六	一三六	二九	八	七四七

情報

支那

□上海兩商會の裁厘加税に對する意見

關稅增加の收額にて足れり 上海總商會並に縣商會は連署を以て上海縣知事に請願せるものを見るに、釐金稅裁撤につき發生せる損失を補足するに製出產地稅・賣行商場稅又は營業・所得の二稅を以てするかに對する意見として、右兩商會は左の如く述べ居れり。

釐金稅裁撤後取立てんとする出產・銷場の二稅は中英間壬寅に締結せる通商條約第八款第八節に依るに、只外國に輸出せざる土貨に向つて取る所にして、此の種の徵稅方法は從來財政當局の籌議せる所に據るに、即ち條約に依り常關に渡して取扱ふものと謂ふあり、亦常關は運く設くる能はざれば省城に徵收總局を設け、各縣に繁簡を斟酌して別に支局を設けんと欲し、或は權宜各業者より納入數額を認めたる者と謂ふあり。何れにもせよかゝる總・支局の密布設立するは釐金總・支所の置かれあると殊なることなく、而して徵收稅率は銷場稅を百分の五とし出產稅を合せて計百分の七分五厘と爲すに在り。かくては其の稅率は之を江蘇省現行の貨物

税に比するに、増加して四倍弱に當る。果して然るときは人民の多年渴望したる裁釐は只外國貨物が落地税を免除され、輸出の土貨が出産税を免除されるのみにて、國內に賣買する、土貨は依然として困難を感じ、負擔更に重きの狀あり。人民亦何を樂みてか、かゝる裁釐の舉あるを得んや。民國十一年財政・農商の兩部より各省區の商會を召集し、關稅研究會を開きたるに、各商會は産・銷二税に對し皆共に未だ賛成せず。而して本總會及び蘇州總商會は當時已に特電を發して力爭する所ありき。然るに財政部は何を以てかく輿論を忽視して舊問題を提起せるや。又營業・所得の二税に至りては、一には店賈に普及し、一には兼ねて全國に及べり。各方面皆以爲へらく今日政治の煩鎖なる。官吏の横征なる。天災兵禍の交迫せる、物價の年月に増高せる、勞資の時に爭執を起せるより、比較的富庶なる省分の大都會に就いて論ずるも、商農工學に論なく、皆相私語して曰く、江河の如く日に下り民生を聊せざるの概あり。従前瘠苦の區にして兵禍や、甚しかりし省分に至りては、生計の窘困なるは言を待たず。然るに歐米に倣ひ課するに營業・所得の新税を以てせんとするは、此れ猶ほ跛者に責むるに重荷を負ひ急に走ることを以てするが如く、只其の汗の流れて自ら作る、を見るのみ。本總商會は民國十一年十月間に於て曾て關稅研究會各省代表に打電して痛く此の税の仿行すべからざることを論せるは即ち此の旨なり。且つ當時約文に産生・銷場の兩税を計上する、原來加税後裁釐の損失を抵補するに足らざ

るを慮れる爲め起れば、たとひ確に能く加税の數を證明し裁釐の數に當るとも、其の産・銷二税に論なく、抑營業・所得の兩税も財政當局の自ら抵補を以て名とせず、別に盈滿を取るの術を謀るべからず。按ずるに民國十一年關稅研究會議を開く時、當時財政討論會の出席代表は曾て民國十一年の海關收數に依り、加税後の増收數目を推算して、關平銀四千六百五十四萬〇一百八十九兩一・五とし、合計洋銀六千九百八十一萬〇二百八十四元なれば、厘金及常關稅の二項の損失五千三百四十六萬五千一百七十九元を抵補するを除くの外、尙一千六百三十四萬餘元の餘剰ありとしたり。當時該會に參與せし諸人皆此の計算に對し更に異議なかりき。されば今日に至り此の外に更に稅源を求むる要あらんや。況や財政討論會の代表が當時増收の數を計算せるに、其の輸入税は只民國十年の標準としたるのみなり。若し最近の收數を以て比較せば已に超過せること三割半内外に屬す。而して輸出増收の七五は尙未だマツケイ條約第八款第七節に依り切實なる増收の數を以て計算せず。一たび詳細なる考核を爲さば加税を裁厘と相對せしむるに餘す所尙一千六百餘萬元内外には止らざるなり。此れ皆關係帳簿計畫案の鈎稽比較すべきありて絶えて空論に非ず。本會等再四籌議せしに意見皆相同じ。所有新税は國情に揆るに萬々行ひ難く、加税已に盈餘あれば、別に抵補を謀るの要なし云々。

□五省聯盟の醞釀

最近七省九省の聯盟說中に又五省聯盟の説あり。這般河南より來京せる某君の言によれば、近く數月來の所謂七省及九省聯盟の説は防務會商の爲め開催せるものにて、外間の傳ふる如く某々を擁戴せるに係るといふは殊に事實に非ず。その内容簡單ならざるが若しと雖も、要は此會議を以て即ち具體的聯盟なりと謂ふを得ざるなり。五省聯盟の議に至りては最近一箇月間に實に此の種の發動あり。五省とは如何。即ち豫(河南)鄂(湖北)甘(甘肅)閩(福建)浙(浙江)の五省にして、その聯合は純粹なる某氏に對する一種の防禦作用なり。目的は則ち能く現狀を保持するに在り。五省中河南及湖北の兩省を以て主幹と爲すは兩省が唇亡びて齒寒きの虞れあるに因ればなり。此の外福建及浙江の兩省は自街上の見地よりして亦贊同加入するに至れり。惟甘肅の一省はその國民軍の方面に於て利害相反するの衝突あるを免れず。現に規約の協定あるを以て遵守すべきの權義ありと雖も、始終一貫能く渝はらざるを得るや否やは尙ほ逆料し難し。此の項の規約は河南・湖北の兩省會同の上起草せしものに原因し、其他三省の同意を俟ちて後即ち確定成立すべし。原文の要點を掲ぐれば下の如し。

- (一) 凡そ此の聯盟に加入せる省分は對手方と潜かに款を通じ或は暗中に接洽する等の事を爲す

- べからず。これに違へる者は一度察出せらるれば直ちに聯盟より退出を命ずべし。但し普通の往來は此の限りに在らず。
- (一) 聯盟各省は既に現狀保持を以て目的となす以上は、現政府に對し亦當きに維持主義を取り、務めて方針の誤認を免かゝるを庶幾ふ。
- (一) 聯盟各省は地位の關係に因り暫時保守政策を採用せざるべからず。而して萬一不得已時に至りては、應に全力を合せて以て應付を圖るべし。
- (一) 聯盟各省は如何なる方面に對しても又如何なる人に對しても推戴を爲さず、且つ如何なる方面にも利用されざること。
- (一) 同盟各省中、ある一省が他の侵害を受けたる時、その他の四省は當に全力を竭して相互協助を行ひ、些しも顧慮あるを得ざるものとす。
- (一) 其他各省中軍事上若し確實に協助し能はざる事情ある時は、宜しく財政上及軍械上に於て力を盡して之を助くべし。決して言を左右に託して推諉するを得ず。
- (一) 聯盟中のどの一省に拘はらずその行動がもし全體と關係ある時は、應にその他各省の同意を徵取し、意見一致せざる時も多數決に依り擅に自ら處分するを得ざるものとす。上に列したる諸々の事端は各條規定の意義に就きてその要を撮りて之を言ふのみ。將來改修の必要

ありや否やは一時には殊に決定し難し。此の外尙は數條あるも重大なる關係なきに因り省略せりと云ふ。(九月五日—七十二行商報)

### □舊直隸系活動の泡影見ゆ

最近一月間に舊直隸系の要人張英華等及附選議員が漢口邊に蟄集し、密に活動を謀りたる爲め謠言大に起り、双十節日には直系が某軍と聯絡し是の日事を舉げんとすと謂ふものあり、又或は吳佩孚氏が是の日岳州より武漢に來るべしといへるあり。甚しきは吳氏已に秘密に湖北に出で一切を主持すといふに至る。然れども尙は聲勢を盛にしたるのみにて實際未だ實力の準備あるを見ず。鄂軍第一師寇英傑部は全部河南に移るべしとの説ありしも、寇師長が親しく開封に赴き岳維峻と面商せる後何の故なるかを知らず病と稱して漢口に居り、竝に該師河南に移るの準備を中止せるにても其の一斑を推想すべし。

財政方面は如何といふに、先づ張英華之が籌畫を擔任し、張は洛陽の官地及岳陽の某税を某國公司に抵當として五百萬元を借出し、此れを以て軍費に充てんとしたるも未だ相談纏らず、僅に張より數萬元を立替たるのみ。時に該直系中退職軍人及無聊の政客の風を聞いて來るもの二三千人を下らす。忽ち費途供給難に陥れり。又附選議員の前後漢口に來るもの約七十人なる

も、亦僅に天津にて旅費二百元宛を給せるのみにて、漢口到着後更に歳費二百元宛を支給する筈なり。然れども後亦之を履行せず。副議長張伯烈は漢口に居ると雖も、其の金錢の活動は頗る吳景濂に及ばず。

蕭耀南の態度は如何と見るに、蕭の該系に對する、始終冷淡なる態度を持し居れり。前に吳光新の來りし時も、其の重要な任務は蕭の直系に對する態度を探視するに在りたるが、蕭は已に中央を擁護することを聲明し執政に服従の意を明にし、保境安民を以て職志と爲せりしなり。故に吳光新去るの翌日布告を發し、且つ張英華等を通緝するの令を下せり。張英華は通緝令の下れるより舊露國租界より日本租界に移居し、其他の密謀者も日本或は佛蘭西租界に入り、或は潜に漢口を離るゝものあり。蕭氏亦彼等を通緝するを實行せざると同時に彼等の活動を許さず。是に於て彼等は聲跡を消滅させ、謠言も頓に止めり。而して吳佩孚氏は固より尙ほ岳州に留れるなり。(十月十六日—新聞報十二日附通信)

### □浙江省内に駐屯する軍隊數

浙江省に於る北軍と浙軍軍隊は最近の調査に依れば、左の如くで、合計九萬人であるといふ。

一、陸軍第一師々長陳儀 杭州紹興王夫餘姚百官等に分駐。

- 二、第二師々長盧香亭 杭州嘉善寬橋等に分駐。
- 三、第三師々長周鳳岐 湖北に駐屯。
- 四、第一混成旅々長彭德銓 平湖に駐屯。
- 五、第二混成旅々長王金鈺 杭州に駐屯。
- 六、第三混成旅々長張慶組 福建省北部に駐屯、一部は浙江省に入る。
- 七、第六混成旅 金山駐屯。
- 八、第七混成旅々長楊振東 寬橋に駐屯。
- 九、第八混成旅々長謝鳴助(即ち護路隊司令) 松江及び滬杭鐵道沿線。
- 十、第十混成旅々長孟昭月 松江寧波海門等に分駐。
- 十一、第二十四旅々長張峻峯 衢州に駐屯。
- 十二、衛隊團々長李寶華 杭州に駐屯。
- 十三、憲兵隊々長汪其昌 杭州に駐屯。

以上統計、北軍一師八混成旅、浙江軍二師及び一聯隊、一大隊合計約九萬人なり。

(九月二十四日中外通訊社)

### 福建周督理の浙江援助準備

周蔭人が浙江援助の爲め出發せんとするは已に掩ふべからざるの事實となれり。若し一朝江蘇・浙江間に戦争あらんには周督理は直ちに親しく隊を率ゐて出發し、省防司令李生春・第一補

充旅長蔣啓鳳をして一切を維持せしめ、上游は第二旅長董勝標に責任を負はせ、下游は興・泉・永鎮守使孔昭同に責を負はせしめ、浙江に入るの軍隊は周督理の本部第十二師の全部・衛隊一團・第一旅蘇挺の全部・第九旅張慶利の全部・第三十旅一團・第五旅一團にて、總計兵力は一個師と三個混成旅、約四萬餘人と稱し、現に皆延平に集中して出發の命を待てり。其の兵站部は(一)延平(二)建甌(三)浦城(四)仙霞嶺(五)衢州の五個處に設け、並に双十節に軍事會議を開き各軍官皆委員を派して該會議に參與せしむることに定めらる。但し董勝標は七日特に親しく永春より福州に來り、慮興邦方面に對しては再び進撃せざることをし、郭鳳鳴・陳榮標・陳國華・吳威及各部投降の民軍に成を責め、德化・大田・沙縣・永安に於て、要隘を擇びて扼守せしめ、尤溪縣城及玉田には馬瑞雲團を以て駐紮し、永泰は董勝標旅第四團を駐守せしむ。某要人の言に據るに今次周督理が親しく自ら出發せんと願ふものは、閩・浙兩省は唇齒の如く相依り居れば、一朝浙江にして敗れて守られざらんか、閩省亦獨りにては存し難し。されば其の手を束ねて亡を待たんよりは合力して奉天側と一たび雌雄を決するに如かずと決意したる結果なりといふ。然るに奉天側が持重して起たざるか、或は他方面之に響應せざる時は、孫周亦決して戎首とならざるべしといふ。

(十月八日福州通信)

□香港政府軍艦にて航線を巡視す

覺悟社曰はく、省港大罷工の後より香港の商務は凋殘し糧食は斷絶せるを以て英人計を施すに所も無し。是に於て潮・梅の陳炯明・欽・廉・高・雷・瓊の鄧本殷・申葆藩等と勾結し、藉りて香港の交通を維持し香港の糧食を接濟す。惟鄧本殷の華山輪船の獲られて後、一般の航海業・及運送業に因りて利を圖る者は均しく畏懼すべきに屬す。随つて各航商を召集して會を開き、之が維持方法を討論したる結果、聯合して香港政府に稟請することを主張し、軍艦を派し港口外の各航線に赴きて巡弋し維護せしむ。昨日香港政府は通告を發して稱すらく、現に海軍當局と與に磋商妥協し、本月十二日より起算し、此の後は毎週の火・金兩日には均しく政府より一兵艦を派して港口の西南方面即ち港を離るゝこと約十英里の航海線路間に往來巡視して航行を保護す。仰ぐらくは各船務公司一體に知照し、立ちどころに輪船々主に通知して査照辦理し、務めて此の航線に依りて行駛することを期す。如何なる困難を論せず、香港政府は當さに能く法を設けて十分に保護し斷じて他の虞れなかるべしと云ふ。此れに由りて之を觀れば則ち香港政府の情急にして勢ひ窮れるや知るべし。(九月十九日・十七日行商報)

□廣東及汕頭情報

蔣東江に向ひ出發す 蔣介石は東征軍總指揮に任せられ、既に東江方面に出發せりと傳へらる。吳鐵城の軍隊又東征軍に参加す。

熊克武拘禁さる 九月末廣東に來れる四川軍總司令熊克武(元四川督軍)は陳軍と款を通じたりとの理由を以て、四日政府に捕へられ、軍官學校に拘禁さる。其部下は朱培德軍に編入さるゝ由。

廣香間の連絡 二日以来廣東香港間に連絡として、河南・佛山の二隻交互に一日一回の便あり。支那人舢板も横附し異狀なし。繼續するものと觀察さる。

佛艦出港 五日佛國砲艦「アーガス」出港。

汕頭復工調停 汕頭對日罷工復工事件は内田領事・汕頭交渉員・公安局長及總商會々長により調停す。

日本領事の聲明 日本領事は日本政府は今週北京開會の對支那國際會議に參列し、又支那の合理的各種提案を討議することを欣諾せることを聲明す。

復工後の待遇 罷業工人復歸後は工資待遇及賞與等は一切舊の如くし變更せず。

罷工期間の爭議は追究せず 罷工期間内に於ける使用人對日本人間の一切の爭議は種々の情誼に依り追究せず。



事前和衷 爾後任意に罷工し、又は故なくして解備せず。總て事前に和衷妥協すること。調印後の善後 調印後は各罷工人は即日復歸すべし。又罷工・排貨・及従前一切の紛糾は完全に解決す。

生活補助費を給す 日本人側は罷工人の生活補助費として、特に給料一箇月分を支給す。

(以上十月十六日發—廣東情報)

惠州占領 東征軍は十三日惠州を占領し、尙ほ主力は海豐・陸豐方面に前進の模様なり。

英船を停船臨檢 廣東政府は軍艦中山外一隻を虎門に派遣し、同所にて十二日英船河南、十三日英船佛山の航行中を停航臨檢せり。右は兵器彈藥の廣東に密送せらるゝを防止する爲めなりといふ。十四日英砲艦「ジガラ」は同所迄連絡船を護衛し、夕刻當地に歸港せり。

沙面佛蘭西橋開放 十五日以後毎日午前九時より午後五時半迄佛租界佛蘭西橋を開放し、沙面在住外國人の通行を許す旨佛領事の通牒あり。右の結果は相當罷工問題に對し新生面を開くものと觀察せらる。(以上十月十六日發—廣東情報)

虎門の戒嚴 廣東政府は十二日附を以て虎門一帯に戒嚴令を布ける由公文を以て我邦領事に通知し來れり。而して同所には機械水雷布設しあるに依り、附近航行船舶は前以て通航方を廣東政府に通知すべく、同所にては支那側にて水路の指示をなす由なり。右戒嚴は東征軍背面防

備の意味にて、罷工とは全然關係なきものと認めらる。(十月十九日發—廣東情報)

佛艦の出入及戒嚴辦法の概要 佛國砲艦ビデランテ二十日入港、アルゴール二十一日出港。

虎門一帯戒嚴に關し、廣東政府より我邦領事に致せる戒嚴辦法の概要は左の如し。

- (一) 水雷敷設は虎門「シャカク」より南方五哩に至る區域なり。
- (二) 「コウタイ」、「コウカ」の二艦は右兩端に碇泊し、船舶の通過に際し之を指導し、安全なる水路を通航せしむ。
- (三) 船舶の夜間通航を禁止す。

(十月二十二日發—廣東情報)

### □東江再戰の兩軍陣地

東江の戦局は又將に再開されんとし、双方の兵を集め將を送ること甚だ忙し。陳軍が進んで潮陽・揭陽・普寧・惠陽の四縣に逼れる時に當り、省政府は正に省城附近の粵軍に應付中なれば、決して東江方面に對しては注意せず。莫雄・鄭潤琦の各部が蔣軍に武器を押收されて後、陳軍已に進んで海・陸豐各地に至る。蔣氏は陳軍行進の速なるに驚き、直ちに平湖・淡水・博羅・增城一帯に向ひ積極的に兵を増したれば、双方の大戦は已に免れ難し。今双方備戰の情形を分述する



こと左の如し。

陳軍の進行 陳軍今次の出兵は共產黨を剷除するを目標とす。陳炯明の上海に在るや、許、蔣の内訌ありと聞き、急に劉志陸に打電し機に乗じて潮陽・揭陽等四縣を收復せしむ。劉氏乃ち十八日に軍令を下して動員を行ひ、該四邑に向ひて進逼したれば、許部軍隊は退いて海陸豊一帯に集り、許軍行營主任孫本戎亦汕頭を放棄して去る。陳氏香港に至るに及び梅縣・興寧・五華等に駐紮せる林虎の部隊、李易標・黃業興・黃仁寰・林烈・王定華等の各將領は一律に前線に向ひて出發し、海・陸豊一帯に向ひ三面より包圍攻撃したり。許軍の余鷹揚・張和の兩部は共に五千餘人と注せらるゝが、三多祝に向ひ退却しけり。尋で許崇智が上海に赴けりと聞き、省城に歸ることの不利ならんを恐る。繼いで石龍・東莞・實安の莫雄・鄭潤琦部は學生軍に兵器を押寄せらるゝと聞き、余鷹揚遂に張・賴二旅長を派し劉志陸に向ひ一に打合せ陳軍と共同動作を爲さんとす。而して莫雄・鄭潤琦の殘部は逃れて淡水・龍崗に至り、亦楊坤如の收編を要求したれば、劉・楊二氏より香港に打電し指揮を請ひたるに、陳炯明の答電に、「許部は同一粵籍軍隊なれば、其の誠意を以て來り歸せんには之を異視するの要なし。余鷹揚を第一獨立旅長・張和を第二獨立旅長とし劉志陸の調遣に歸し、其餘は優に禮を以て之を待ち一體收容ありたし」とありき。かくて現在の陳軍陣線は分ちて三路とす。左路は海陸豊より三多祝を経て平山に達し、黃任寰・

謝文炳・林烈・張化如等の部より之に任じ、右路は興寧・五華より業金に出で、河源に達し、李易標・黃業興・翁輝勝・熊略等の部より之に任じ、中路は惠州を以て中心とし、東平山と聯絡し、西は河源に通じ、惠州の楊坤如全軍を以て之に任ず。査するに東江幾回の戦争は歴史上より觀察するに、平山・惠州・河源を以て軍事の要隘と爲し、三處破れたるを以て潮・汕動搖したり。今該三隘は又陳軍の占據せる所となりたれば、蔣介石の所謂陳軍の剿滅は須く兵力を増加するの外なし。

蔣介石の應付 蔣氏の東江陳軍に對する、以爲へらく一撃にも當らずと。然るに陳軍が海・陸豊を收復するに及び、乃ち積極的に戦に備へ、二十五日軍事部より全部黨軍に通令し(學生軍・教導團・何應欽部を包括せり)、三日前に一律省城に集中し、十月一日廣九列車にて出發せしめ、一方鐵路局に通知し貨客各列車を停止せしむ。其の兵力計學生軍・教導團六團・團毎に一千五百人なれば共計八千人あり。之を蔣の本部軍隊とす。此の外陳銘樞部三千餘人王懋功部三千人あり。蔣氏初は親しく前敵に赴かんと欲したるも、嗣で廣州に主持の人なきにより、露人加倫將軍に委するに全軍を指揮するを以てし、其の豫め前敵地方へ運送する軍械には露國大砲三十餘門・水機關銃四十餘挺・手機關銃三十餘臺・歩兵銃は各兵より携帶せしめ、兵を進むるに三路を分ち廣九鐵路より前進し、中右路は平湖に集中し、左翼は何應欽より増城に出で、龍門に進みて

河源を攻め、右翼陳銘樞は平湖に出で、淡水龍崗に進みて平山を攻め、中路は加倫將軍にして博羅よりして惠州の正面を攻め、李濟琛部隊は中右兩路に策應せしめ、平湖に駐紮せる學生軍一團は現に淡水に向つて前進し、茶山・樟木頭・深圳等の李濟琛部は現に平湖に向ひて前進し、加倫將軍は三十日石龍に出發して各軍を指揮して前進せしめ、電信隊亦期に先ちて出發したれば、双方の大戦は當に淡水・龍崗・平山・河源の間に在るべし。兩軍の比較は餉械より言へば蔣軍の充足を推し、地勢を言へば陳軍を熟悉せりとす。然れども最後の勝利は目下豫定する能はざるなり。(十月十一日新聞報香港通信)

### □支那の外紙輸入狀況 (下)

M. G. cap. の主要供給地たるスカンデナヴィア諸國及獨逸

上海の洋紙市場に於いて、M. G. cap. paper 市場は新聞用紙市場に次ぐ市場たり。實際上該紙の漂白せるもの及其他の三分の二は諸威及瑞典より輸入され、而して一九二四年度該品の輸入中、前者は四割、後者は二割八分供給されたり。スカンデナヴィア諸國に次ぐ供給國は獨逸にして、五、四五〇、〇〇〇封度を供給し、日本及伊太利は更に之れに次ぎ二、〇〇七、〇〇〇封度及一、八九四、〇〇〇封度を夫々供給せり。獨逸・英國・瑞典及伊太利は一九二四年度に於ける

上海地方の該紙輸入に對し、供給上増加を來したりしが、著しき増加を示せるは獨逸及瑞典なり。

Simili paper の主要供給國たる伊太利

一九二四年度上海輸入の Simili paper 中、幾んど五分の一は伊太利よりの供給に係り、前年度に比し七割二分の増加を示したり。其餘りの該紙は主として、日本及瑞典よりの供給にして、各約二割を占め、獨逸及諸威よりの供給は各一九二四年度輸入額の約一割に當れり。而して本紙の上海輸入額は前年度に比し、約一割の減退を示したり。

包装用紙の主要供給國たる獨逸

日本は一九二三年度上海市場に於ける、種々なる包装用紙の供給國として、第一位を占めたりしが、一九二四年度は第四位に下落し、第一位は獨逸の占むる所となり、該紙總輸入高九、三六二、四〇〇封度に對し、三、一七四、〇〇〇封度を供給せり。瑞典及諸威は第二位及第三位にして、各々計三、〇〇〇、〇〇〇封度を供給し、日本は更に其次にして、九八二、四〇〇封度の供給を示したり。其餘の輸入紙は主として、伊太利・英國及和蘭より來り、各六七七、〇〇〇封度、四九二、〇〇〇封度、四一〇、〇〇〇封度を供給せり。

蠟附き及油塗り紙の一九二四年度上海輸入額は前年度に比し六五、六八〇米弗の増加を示し

第百五十七號

たり。此種紙の輸入は英國及伊太利の供給に俟つものにして、各幾んど二割を供給し、而して白耳義及諸威より、各一九二四年度輸入總數の約一割六分を供給せり。獨逸の一九二四年度に於ける此種紙の供給は僅かに八分にして、之れを前年の供給高に比すれば、實に一割四分の減退なり。模造羊皮紙の主要供給國たる英國及獨逸は各價額に於いて、四、五七二米弗及一、二六四米弗を供給せり。

優良紙市場に於ける主要競争國たる米國、英國及日本

一九二四年度及輸入の優良紙は殆んど各種に亘り増加せしが、安價なる紙も同年の下半期間は其輸入増加を持続せり。一九二四年度上海輸入の洋紙中、一九二三年度輸入に比し、被膜紙は五割六分、寫字用紙は四割三分及此等二種の著色紙は一割等、各増加を示したり。優良紙中に於て最も大量なるは紙巻煙草用紙にして、其輸入は價額に於て、一九二四年度一、五七〇、九六八米弗に達したり。輸入紙巻煙草用紙の大部分は英國産にして、英本國品は幾んど其過半數を占め、英領印度品も亦一割七分を占めたり。該紙市場に於いて、英國の次ぐ競争者は獨逸及佛蘭西にして、各二割一分及一割六分を供給せり。

獨逸及伊太利よりの寫字用紙輸入増加

輸入寫字用紙の殆んど三分の一は獨逸よりの輸入に係り、是れに次ぐ競争者は英國及伊太利

にして、各九九〇、〇〇〇封度及九六六、〇〇〇封度を供給せり。米國は其産品の供給量に於て、第四位なれども、其船積の價額は第一位を占め、英國及獨逸を凌駕する事、各一割二分及二割なり。

此重要なる競争國中、只獨逸及伊太利の一九二四年度に於ける該紙供給は、前年度に比し増加を示したり。

一九二四年度に於ける、米國よりの輸入寫字用紙は、價額に於いて約六分の減退を來し、英國よりの輸入品は約一割一分方減退せり。而して最も激減せるはスカンヂナヴィア諸國及日本よりの供給なれども、此等諸國よりの供給は尙七割を占めたり。一九二四年度輸入の被膜紙の六割以上は米國よりの輸入に係り、其輸入價額は昨年度に比し、三倍以上の増加なり。而して之れに次ぐ競争者は日本にして、其供給は該紙全輸入量の一割四分なり。其餘りは英國・獨逸及伊太利よりの供給なれども、一九二四年度に比し二割乃至五割の減退を示したり。

輸入板紙の主要輸出國たる米國及日本

一九二四年度上海輸入の板紙は約二割五分の減退を示したりしが、其内最も大減退を來せるは米國及日本よりの輸入なり。然りと雖米國及日本は其重要なる供給國の位置を支持し、一九二四年度に於いて、前者は原紙の約八割四分を供給し、後者は馬糞紙の約八割四分を供給せり。

伊太利は上海の輸入板紙中第三位を占め、同國よりの輸入は板紙四二九、四六五封度及馬糞紙五九、六〇〇封度にして、其價額の合計三〇、九〇〇米弗なり。其餘の競争者中、英國及諾威よりの一九二四年度に於ける輸入は前年度に比し、五割の減退を示し、獨逸品は四分の減退なりき。一九二四年度上海の米國より輸入せる板紙の總額は二九九、一五五米弗にして、同じく日本よりの輸入額は一一八、一四八米弗なりき。

種々なる洋紙類

輸入塵紙及吸取紙は主として米國の産に係り、米國は前者の五割三分、後者の三割を供給せり。而して日本は塵紙市場の主要なる競争國にして、英國・獨逸及伊太利は又吸取紙市場の主要なる競争國なり。實際上壁紙は殆んど英國よりの供給に係り、一九二四年度輸入總額六八、六四八米弗中、四二、三二六米弗は英國の供給なり。

日本の獨占到係る北部市場—競争激甚なる上海市場

天津駐在副領事デイ・シ・パーガー氏の報告に據れば、北部支那に於ける紙取引は廣大なる區域に亘り、日本の獨占到に係り、即ち一九二四年度輸入の洋紙及紙製品中、其五割二分は實に日本品にして、此れに比し、米國品は一割九分、獨逸品は一割、英國品は九分を占むるに過ぎずといふ。

南支那地方に於ける紙取引は競争激甚を極むるを以て、該市場に於いて傑出せる位置を占むる國は一國も無し。一九二三年度上海に輸出せる各國の紙は、其價額に於いて、諾威及日本は各第一位及第二位を占め、其次きは英國・米國・瑞典・獨逸及伊太利の順序なりき。然りと雖も、一九二四年度は日本の依然第二位を占むるに拘はらず、諾威は其第一位を英國に譲り、瑞典は第三位となり、米國は第五位を占め、獨逸及伊太利は一九二三年度に於ける位置と同様、第六位及第七位を保てり。然りと雖も、各國より輸入せる紙類の價額に於ては著しき差異無く、一九二四年度輸入價額の一割九分は英國、一割六分は日本の供給に係り、其餘の各國よりの供給額は一割一分乃至一割三分の間に在り。

支那人輸入業者の一九二五年度に於ける紙の需要増加豫想

一九二五年度上半期に於ける、上海輸入の洋紙及紙製品の輸入統計表、手許に無しと雖、其取引は一九二四年度に比し、大量の如き徴候あり。該市場は本年の始めより、頗る健實を持續し、其價格も又先高の狀況を示し居れり。商務官デイ・シ・ホワード氏よりの極最近の報告に據れば、輸入紙の市場は頗る活潑にして、五月初めの輸入紙は割高の價格を以て、急遽處分せられしといふ。尙天津地方の副領事デイ・シ・パーガー氏の報告に據るも、同地方に於ける該品商人等は、一九二五年度に於ける該品の取引は一九二四年に比し、大量に上るべく豫想し居るもの、如し

といふ。(カマースリゴーツ 六月二十二日)

### 比律賓

#### □比島糖業の今昔 (上)

比島の全輸出産物中、砂糖の如く神速なる進歩を告げたものはない。一九〇三年には、其他の本島主要輸出産物三種即ち椰子・馬尼拉麻・煙草の間にあつて、價額に於て第三位であつた該砂糖は、其後健實なる上昇を極め、遂に一九一五年には本島首位輸出品となり、爾來今日に至る迄其の地位を失墜しないのである。

一九〇三年度の比島主要輸出品價額を列挙すれば、馬尼拉麻四四、〇〇一、一七六比即ち全輸出額の六八%、椰子(コブラ及び椰子油)七、六四一、二四一比、一二%、砂糖六、六五〇、四六八比、一〇%、煙草三、八九三、七五〇比、六%であつたが、一九二〇年には砂糖九九、二三八、五二〇比即ち全輸出額の三九%、馬尼拉麻七一、七二四、〇〇〇比、二四%、椰子(コブラ及椰子油)五三、九七一、五一四比、二七%、煙草三九、八五四、七八二比、一三%となり、現に昨年度も砂糖八三、七三六、一七四比、三二%、馬尼拉麻五九、九〇〇、九一六比、二二%、椰子油三七、六二二、〇六一比、一四%、コブラ三〇、七〇三、七六四比、一一%、煙草一九、七二五、七一八比、八%であつた。因に椰子油は彼の歐洲大戦中に一大刺戟を受け、一九二〇年には本島に於ける重要

なる産業となり、當年比島は實に四六、五三七、七七三比の同品を輸出して最高記録を留めたのであつた。

#### ■本年上半期の砂糖大輸出

本年上半期に本島は三九六、六一三、八五七研、價額六八、〇〇〇、九五四比の砂糖を輸出したが、之に對して馬尼拉麻は三三、九二二、二〇六比、椰子油一八、一一四、八七〇比、コブラ及コブラ・ミール一四、四二二、三八二比、煙草八、四五一、八七二比であつた。而して本年上半期の輸出額を昨年同期の夫れと比較すれば左の如くである。

種 別	一九二五年上半期		一九二四年上半期	
	研	比	研	比
分 類				
精 糖	三三、九二二	二〇、六	三三、九二二	二〇、六
粗 糖	三三、九二二	二〇、六	三三、九二二	二〇、六
計	三九六、六一三	六八、〇〇〇	三九六、六一三	六八、〇〇〇

本島産分蜜糖と精糖の大部分は合衆國へ積出され、他方マスコヴアド糖の大部分は支那・香港及び日本に配給される。合衆國が昨年中に消費した比島マスコヴアド糖は約九〇噸に過ぎなかつた。而して一九二四年度に合衆國へ輸出した我が分蜜糖は二九六、二四一、七六九研、價額七

三、五七〇、四七五比で、他諸外國への同品輸出は僅かに五四四疋、價額一四六比であつた。尙ほ昨年中に合衆國へ四、五二八、九四六疋、價額一、三九三、七八九比の精糖を積出し、他諸外國へ輸出した同品は僅々一、九七九疋、價額七六〇比であつた。

他方總額八、七七二、〇〇三比を計上する當年の輸出マスコヴァド糖は左の如く配給された。

國別	疋	比	國別	疋	比
支那	三六、六五五	三七、五五五	合衆國	六、五八八	一七、三三七
香港	一七、三三〇	二、五二八	其他	五、一三三	一〇、〇〇〇
日本	三三、八七五	三三、六六四	合計	五〇、〇〇〇	八、七二〇〇〇

古き歴史を有する比島の糖業

本島の糖業は、其筋の記録に據ると數百年の歴史を有してゐる。事實本島發見者等は、當時此地に於て最初の栽培植物の中に甘蔗を目撃した。斯業に關する不完全なる資料に據るも、新式製糖法を輸入した米國領有以前に於てさへ、既に糖業が漸次國內重要な産業となりつゝあつた事が明白である。爾來斯業は一大進歩を告げ、今日に於ては年額約五〇〇噸の砂糖を生産し、此内約三〇〇噸は分蜜糖である。而して彼の歐洲大戰と、比島ナショナル銀行の存在とは、我が糖業の神速なる發達にとつて、實に最大の原動力であつた。

本島糖業の現況に關係があるから、左に元比島農務局技師クリッヅ・ゲブルユー・ハインズ氏が約六年前に執筆したもの、一節を轉載する。

『甘蔗、甜菜其他から砂糖を生産するは、今日世界に於て最も重要な産業の一つとなつてゐる。而して砂糖は、最早や單なる一愛玩物としての域を脱し、其れが吾人の健康に適するを以て、寧ろ重要な日常食料品として重きをなし、尙ほ彼の歐洲大戰は、大々的に之が眞價に就て吾人を心服せしめた。這は亦同様に、科學者をして砂糖が如何に多く彼等の研究室に於て重要な役目をなしつゝあるかを知らしむる所があつた。砂糖に對する需要は十年毎に大なる増加を示しており、更に之が需要は將來或る時期迄は大いに増加すべきは明白である。今迄よりも一層多量の砂糖を生産せねばならぬ所以である。』

茲に科學が之に關與することとなり、化學・物理學・地質學・細菌學及び植物學等各方面の熱心なる調査研究の結果得られた知識の應用に依つて最大の甘蔗收穫が得られるに至つた。更に科學の應用は、最小限の生産費を以て最大限の適當なる各種砂糖を生産する方法を指示して大いに斯界に貢獻した。過去に於て營まれた方法は高價且つ不經濟で、而も生産率が低かつたが、今日では這は最早や用ふるに堪へぬものとなつて了つた。今日世界の糖業界では何等の無駄をも出さずに濟むものとされてゐる。要するに比島の現況は落伍の状態にあるのである。現在我



が國內には今尙は無数の無蓋鍋式工場 (Open Kettle Factories) があつて精蜜様式のマスコーヴ  
ド糖を生産してゐる。該製品は一時は世界の需要に對して相當に役立つたが、併し間もなく過  
去の遺物と見做さるゝ時が到來する事と思ふ。』(續く) (The Philippines Herald, Oct. 5, 1924)

**佛領印  
度支那**

□一九二四年度鑛業一斑

最近の地方紙に、全土を擧げて殆んど農業國とも言得る交趾支那は之を例外とし、佛領印度  
支那を通じ諸鑛物の埋藏量豊富にして殊に東京の如きは著しくその天恵に浴する旨記されてゐ  
る。されど之等饒多の埋藏鑛物の利用方法に就て現在行はれてゐるものが最も有效且最善のも  
のでないといふことは事實である。これ一つは適當なる採鑛設備の缺如せる事と、又他面此地は  
交通の便益に乏しく加ふるに交通機關としても何等發達の見るべきものなきこと等がその因を  
爲すものにして、従つて此地に於ては鑛物の輸送上無益の費用を要するは又止むを得ないと  
さるゝが如き状態に在る。此點は印度支那中最も天恵豊かなる國の一と言はるゝ老鑛地方に於  
てその障害特に甚しく、かのメーコン河の如きも、殘念乍ら舟行困難なるの故を以て商業上の  
通路としては何等價值なきものとされ、爲めに此地方は未だに未開發の止むなき状態を持續し  
てゐる。現在印度支那に於ける鐵道の敷設哩程は約千二百哩に達するも、未だ之等經濟上の要

求に沿ふべくあまりに不十分であることは言ふ迄もない。然し乍らこゝに重要な鐵路敷設計  
畫は既に企圖されてゐる。即ち大陸横斷鐵道、換言せば沿岸線の完成と共に、引續きバン (Vinh)  
よりメーコン河畔のタツケ (Tayke) に至る支線の開通を見るに至るべく以て老鑛の經濟的要求  
に酬んとする當局の意向である。

石炭 一九二三年度に於ける各炭坑の總生産高一、〇五七、〇〇〇噸中、一、〇五三、〇〇〇噸  
は東京より採掘されたるものにして前年度に比し六四、〇〇〇噸の増産となる。然るに一九二  
四年度の生産高は一、三三五、〇〇〇噸を數へ、一九二三年度のそれを凌駕すること優に二七八、  
〇〇〇噸といふ盛況である。斯くして一九二四年に至る間東京の採炭量は漸次其高を加へ、一  
九二四年度に於ける三會社の生産増加割合を見るに、各自九三%、五八%、三〇%といふ數字  
を示してゐる。然るに一方ホンガイ炭坑の産額(約八五九、〇〇〇噸)は、東京に於ける總生産高  
の八%を占めたるに對しその増産率は僅かに七%に過ぎぬ。この現象は全くこの炭坑に於ける  
設備並に敷設機械の増産能力缺如を物語るものである。依つて此炭坑は目下新裝設備の設置に  
努力し著々これが準備中なるを以て近き將來に於て一層その産額の増加を見るべきことは想像  
に難くない。

次表は石炭並に煉炭の輸出先及其數量を表示したものである。(數量單位噸)





國 別	石		炭		煉		炭	
	一九二四年	一九二三年	一九二四年	一九二三年	一九二四年	一九二三年	一九二四年	一九二三年
香 港	三五八四	三六二六	四六二	一〇四				
日 本	三〇八五	九〇七九						
支 那	二〇五五	七三六八						
比 律 賓	四一〇	六四三三						
佛 國	二〇八四	一五三〇						
運 本	一〇六	七七一						
總 計	一〇六	七七一	七二九	三九〇				

タイニューヤン (Thai Ngyen) 地方の有煙炭の産額は前年度の二九、八〇〇噸に對し三七、三七〇噸といふ額を示してゐる。

亞鉛 東京産亞鉛鑛として一九一三年迄は年々獨逸向輸出ありたるに反し、昨年度に於ては、白耳義一七、六七二噸、佛本國七、〇九二噸、日本四、二〇〇噸、香港三七九噸の各輸出を見たるに止まり獨逸向輸出は絶無である。一九二四年度に於ける生産高總計は四三、四三一噸にしてその中二四、八〇〇噸はショーディアン (Cho Dien) 鑛山より採掘さる。

錫及オルフラム 一九二四年度總生産高は、前二箇年に於ける各六七七噸、七〇八噸、に對する八九二噸である。大戦の終熄と共にオルフラムに對する工業上の需要閉止せるを以て、各會社共にオルフラムの單獨採掘を爲さず、何れも唯錫鑛採掘に於ける從屬的産物として之を採掘

してゐるのに過ぎぬ。老邁は他鑛物と共に錫鑛に於てもその埋藏量頗る饒多なりと一般より思惟さるゝ所なるが一九二四年に於ては二四〇噸の産額を挙げ、何れもメーコン河及西貢河を経て新嘉坡へ向け輸送された。

其他鑛物 バックラン (Pac Lang) 地方に於ける合金石英層は未だに手が附けられずに在る。一九二三年に於て始めてその事業の有利なることの報告を見たるも未だその採掘を企圖する者無し。ツーンカン (Tuyen Quang) (東京) 並にタンホア (Thanh Hoa) (安南) に於けるアンチモニーに就ては既に數度の試掘ありたるも最近に至る迄是又何れも採掘の緒に就いたる様子が無い。一九一七年一時瓦解したる海防の一小鑛工場は地方或は支那方面より粗鑛を蒐集し之を處理せんとする目的の下に再びその作業を開始せんとするの説がある。又、一九二三年黒鉛の處理を目的として設立されたる一小工場はその原料をナムシ (Nam Si) の黒鉛鑛山より供給されつゝあるが、その作業能力は一日二噸に及び昨年の上半期を通じての黒鉛輸出は三十噸に達してゐる。

サファイア並にルビー鑛は東埔寨と暹羅の國境ベイヤン (Biein) に所在し、その生産高は前二箇年に於ける四、八八八及四、七一九カラットに比し一九二四年度は四、一六八カラットを示してゐる。昨年の産額はサファイア四一〇、ルビー二にして前者は五萬磅、後者は二十磅と評價





一九二六年度の世界護謨消費量は約六十二萬噸であると言ふ説が有力であり、一般に一致して居る説らしい。則ち合衆國四十二萬四千、獨逸五萬、佛國四萬五千、英本國三萬五千、加奈陀一萬六千、日本一萬七千、露國一萬三千、伊太利一萬、其他一萬と云ふ内譯である。此の數字は本年度の消費を基礎にして割出したものであるが、此の數字の持つ弱味は、本年の如き高値で持續される場合には、或は消費の減退と云ふ現象が出るかも知れない點である。生産の數字については色々の説がある。クルード・ラッパ・エンド・フォリン・プロデュース・コーポレーション (Crude Rubber & Foreign Produce Corporation) は六十三萬噸なりとして其内譯を英領馬來及錫蘭三十三萬五千、蘭領東印度を二十三萬其他の東洋に於ける生産を三萬、伯刺西爾二萬五千、其他の天然護謨一萬として居る。之れに對しフィアロン商會は五十七萬二千噸なりとして其内譯を馬來二十四萬八千五百、錫蘭五萬八千五百、蘭領印度二十萬、印度及ポルネオ三萬、野生護謨三萬五千と發表して居る。

(新加坡商品陳列館報第四百一十一號)

蘭領東印度

□一九二三年度蘭領東印度の油椰子・煙草及  
咖啡栽培面積 (二)

一、煙草

次に掲ぐる報告中純煙草栽培園に関する指數は信するに足るものなれども、之を二様に確然と區別するを要す。此二様とは即ち侯領並にスマトラ東海岸に見るが如き歐洲式に依るものと、爪哇の東端地方に於ける土人栽培とを云ふなり。

後者は純然たる土人栽培にして、栽培者は借地代償として全收穫を地主に提供するの義務を有し、彼等は單に苗草を給與せられ收穫納入と共に代償を支拂はるゝものなり。

自由栽培煙草は上述の如き義務全く無く、何人にも之れを賣付くるを得るものにして、想感買茶と稱せられ企業園茶と同視せらるゝなり。故に此處に云ふ企業園煙草とは、侯領に於けるそれと多少其意味を異にするなり。即ちメラカルタに於ては七、七〇〇・バウたらすの栽培地より七、七四〇、〇〇〇畝の上捲葉を産出したるに、ベヅキに於ては二八、五〇〇・バウより約五、〇〇〇、〇〇〇畝の上捲葉を生産したるのみにして生産能力非常に低下し居るなり。

想感買煙草の指數に關しては甚だ不完全なるものなれども、歐洲人所有園の想感買行はるゝ東部のものは、實數に近しと見ても大差無きなり。其他東部以外の地に於ける歐洲人所有園に於ても之れを適用するを得るなり。

中部爪哇に散在する多數の支那人及其他の想感買者の買占高は、到底本統計に記載する術も無きが故に、公表せられたる買占高は全買占高の正確なる指數を表はすものにあらずして、單



に其一部を表はすものに過ぎざるなり。

自作園数は、一九二二年の二三園に對し一九二三年には一一四園に減少し、自作園にあらざる園數(感想買を爲す園)は五四園にして全部爪哇に存在するなり(バスマラン及ベヅキ、三八、ケヅ、七、スラバヤ、三、パンジヨマス、三、ブレアンガー、三)。

自作園の大半はスマトラ東海岸にありて、即ち七一園は此地に、四三園は爪哇にあり(スラカルタ、一八、ベヅキ、一八、ジョクジャカルタ、二)。

企業園の生産可能面積は六三、二〇バウにして内二五、七四一バウはスマトラ東海岸に、二八、五四五バウはベヅキにありて、而してスラカルタ及ジョクジャカルタは單に各々七、六四六及一、〇八四バウを有するのみなり(生産面積の總計全植付面積の九九、七パーセントなり)。

一九二二年に於ては、爪哇は三六、八五〇バウより又スマトラ東海岸は二四、三八八バウより生産せり。

スマトラ東海岸に於ては、蘭領東印度各地に於けるものとは全然異りたる栽培法を以て栽培し、之れを交互耕作法と稱し非常に擴大なる土地を使用するなり。

即ち合計面積二二、七五四バウを有する六二箇の純煙草園は總面積三一九、五一八バウを有するに至り、單に其の七、一パーセントのみ植付られ居るに過ぎざるなり。試に他の植物と混作

を爲す九園の状態を示せば左の如し。

畑 類	總 面 積	總 植 付 面 積 (バウ)	
		煙 草 植 付	其 他 の 作 物
七二	三七〇、〇六五	二五、七四一	三、三三四
			二九、〇七五

即ち約八パーセント植付られ居るのみなり。

一九二三年に於ける企業園の上捲葉の生産高は三〇、七六〇、七二六研にして、二二年には三三、九七六、〇五九研なりしなり。而して是を産地別に示せば左の如し。(單位研)

	一九二二年	一九二三年
スマトラ東海岸	一六、〇二六、四五七	一六、九一六、八二八
スラカルタ	八、二七二、〇四一	七、七三八、二二七
ベヅキ	八、〇四九、五六一	五、〇〇四、八二九
ジョクジャカルタ	一、四四七、四七七	一、〇八〇、三五五
總 計	三三、七九五、五三六	三〇、七四〇、二二九

ジョクジャカルタ、スラカルタ及ベヅキに於ける合計三八園は、スマトラ東海岸に於ける七一園より少量の上捲葉を生産したれども、中味煙草に於ては産額合計七、三八六、五〇四研中ベヅキのみにて既に七、三六〇、七〇四基瓦を産出せり。

爪哇に於てのみ行はる、園煙草想感買は、主としてバスマルアンに行はれ此種の取引高は上捲葉七二七、二〇二疋及中味煙草五、九六六、〇六三疋にして、殊に中味煙草の想感買占高は全産額の三分の一に昇るが故に重要視せらるゝなり。

又想感買占高を含む全産額は次の如し。(單位疋)

上捲葉	一九二三年 三、四八七、九二八	一九二二年 三、四、五五八、五一七	一九二一年 二、九、一三八、〇九三
中味煙草	一九二三年 一、三、三五二、五六七	一九二二年 九、九一三、六二一	一九二一年 八、五二九、三三七

猶ほ多量の中味煙草は第三者に依り想感買せられたれども、此處に掲ぐるに至らざる故に之れが生産高、想感買占高及輸出高の比較表を示さん左の如し。(單位疋)

年次	自作園	想感買園	總園合計	輸出
一九二〇年	四、〇六三、〇三〇	八、三三三、〇三三	一二、三九六、〇六三	七、九三三、〇三三
一九二一年	三、八二二、〇三三	三、八二二、〇三三	七、六四四、〇六六	三、〇三三、〇三三
一九二二年	六、四四四、〇三三	三、八二二、〇三三	一〇、二六六、〇六六	三、〇三三、〇三三
一九二三年	七、六六六、〇三三	三、八二二、〇三三	一一、四八八、〇六六	三、〇三三、〇三三

□スマトラ東海岸州のコブラの産額

在メダン貿易協會の報告に依れば、スマトラ東海岸に於けるコブラの輸出數量は近年非常なる増加を見、最近十箇年間に於ける輸出數量は次表の如し。(單位疋)

一九一五年	五、一〇八、二四〇	一九一六年	四、六四五、六四五
一九一七年	四、四五六、五九七	一九一八年	四、三二四、二六二
一九一九年	六、五五六、五三五	一九二〇年	六、〇九八、六六四
一九二一年	七、一五〇、九七八	一九二二年	一〇、五五二、五三八
一九二三年	九、八三一、〇九八	一九二四年	一三、三九六、二一一

右に掲ぐるが如く、輸出増加は一は此地方に於ける歐洲人所有農園の生産増加に基因する所にして、小農園を除く椰子を専門に又は主要混作物として栽培する園數は一四にして、各園とも既に多少に不拘生産を爲し居り、全國總生産高は左の如し。(單位疋)

一九二〇年	一、八八四、〇〇〇	一九二一年	二、〇五五、〇〇〇
一九二二年	二、八八五、〇〇〇	一九二三年	三、四〇二、七七六
一九二四年	三、八八八、二一五		

又土人の生産高は大略次の如し。(單位疋)

一九二〇年	四、二一四、六六四	一九二一年	五、〇九五、九七八
一九二二年	七、六六七、五二八	一九二三年	六、四二八、三三二
一九二四年	九、五〇七、八九六		

右表を按ずるに、最近五箇年に於ける土人のコブラ生産高は倍加し歐洲人生産高の二倍にし

て、歐洲人の生産高は一九二四年に於ける總輸出高の二九パーセントに過ぎず、之に反し土人生産高の増加は良好なる市價の影響する所なるは勿論なれど、一般に今後に於ける生産高即輸出高の増加は期待せられ居るなり。

今來スマトラ東海岸に於ける土人の護謨及コブラ栽培に著しき發達を遂げ、當地方に於ける此等土人物産の一九二四年に於ける總輸出額は殆んど一〇、〇〇〇、〇〇〇盾に達し、猶該地方に於ける非歐洲人輸出額は數年以前に於ては總計九、〇〇〇、〇〇〇盾なりしが、一九二四年に至り約二〇、〇〇〇、〇〇〇盾に達し、此事實は正しく敏速にして且つ非常なる發達を立證するものなり。

此等土人によりて作られたるコブラは、他の土人物産と同様に前記物産の集散地たる新嘉坡及ベナンに船送せられたるが、一九二三年及二四年に至り、此方法は一變せらるゝと共に大量の土人製コブラは直接歐洲殊に和蘭國に向け輸出せらるゝに至りたり。

次表は過去三箇年間に於けるコブラの輸出地先並に其數量を示すものなり。(單位盾)

輸 出 先	一九二二年	一九二三年	一九二四年
新嘉坡	六,135,556	五,341,622	五,015,715
ベナン	三,948,488	三,310,000	三,540,000

和 國 獨 逸 其 他	英 國	佛 國	獨 逸	其 他
10,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
10,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
10,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

和蘭への輸出高は此處三年間に於て十倍以上となり、側ら英國・佛國及獨逸へも可なり的大量輸出するに至りたるは注目し價する事實なり。

又將來に於て、此等土人物産の集中する地方に輸出市場の設立可能視され、此が候補地としてペラワン港最も有望視され居るなり。

今後に於ても生産總額並に輸出總額の著しき増加を見るは確實にして、歐洲人農園の一九二四年に於ける生産能力は一ヘクターに付き平均七四五畝にして、未だ總植付面積の約半分のみ生産するに至らず、若しも現在の全植付樹木の生産の域に達したる時は、歐洲人輸出高は七、〇〇〇噸に達す可く、又技術により一ヘクター當り七四五畝以上の生産を爲し得べしと推察せられ居り、一方土人生産も著しき増加を見るは當然の事なり。近來歐洲人農園は以上の擴張を見ず、小園は漸次其姿を没し、之に反し土人生産業は顯著なる發達を見せ、次表の過去三箇年間に於ける土人各港に於ける輸出統計は立派に之れを表示するものなり。(單位盾)



輸 出 港	一九二二年	一九二三年	一九二四年
ベ	111,912	111,017	112,013
タ	111,912	111,017	112,013
ラ	111,912	111,017	112,013
コ	111,912	111,017	112,013
パ	111,912	111,017	112,013
マ	111,912	111,017	112,013
シ	111,912	111,017	112,013
ア	111,912	111,017	112,013

(蘭領東印度商工農部通報第二十三號)

### 英領印度

#### 英領印度の農業組織

先週秋季印度立法評議會の當初に於て、レッディング卿(Lord Reading)は農業改善に對する強烈なる要求に關し重要な聲明をなせり。農業改善たるや原料及食料の輸出し得るに至る過剩を生せしむるに密接なる關係を有する問題中の一にして且英帝國をして經濟的資源に於て自足

を來らしむる問題に唇齒の關係を有するものなり。

王制地方經濟調査委員會ガングリー、サイド・エルファン・アリ兩氏及タイムス紙上にて辯疏せる其他通信員はカーゾン卿(Lord Curzon)の大守たる間確實なる調査事業が相當の効果を齎らせる事を見逃さざりき。ブサ調査會及印度農務部の活動は現存收穫物の程度を向上せしむる爲めのものなり。レッディング卿は之等收穫物中甘蔗及小麦がブサ及其他の試験所及試験園に於ける注意深き調査及び試験により非常に進歩せる事を指示せられたり。

然しながらレッディング卿の引用せる成功の度は未だ向上せしめ得る可能性を有するものなり。中央及地方農務部が同國に於て支出する金額は毎年耕作地一英反當半片に過ぎずと推測せらる。ラッシュユアルック・ウィリヤム博士は前年度印度年報に於て、若し各農務部の資源が其に課せられたる仕事の高に應じて比例的に増加し得るとせば、印度將來の繁榮は甚だ見るべきものありと述べらる。其の理由として博士は現在同國土地の大部分は全く耕作せられず又開發せられず唯労働及資本の來るを待つのみであると云はる。地方經濟問題に就いて相當意見を有する人の意見では、農業改良の完全にして活動的な政策が實施せらるゝに先達つて土地所有權、負債額、慣習及一般人の氣持を考慮に入れる必要がありとす。

無用なる家畜



レッディング卿は農業が主に動力として家畜に依る事を正確に指摘せられたり。最も必要である事は家畜の数の増加に非ずして、其質の改良である。印度に於ける牛の平均数は耕作地百英反當五十七頭人口百當六十一頭といふ驚くべき數字に達す。去勢牛も亦耕作地用及運搬用に使用せらるゝが印度に於ける一四六、〇〇〇、〇〇〇頭の牛は經濟的限界を越へてゐるものと見らる。

家畜全頭数の大部分は莫大なる損失を忍んで飼育せらるゝ状態なり。此の牛は勞役又は採乳用にも適せず、且つ人食に適するものを飼草のない一年の大部分に亘て食すのである。印度人大部分の間に存在する牝牛尊敬の念は不適當なる家畜の減失を妨げるのである。又同國人は重に肉食主義者であるため、牛の少數のみ食用に供せられるのである。偶然にも、本欄に於て指摘した様に、既述の習慣は印度皮革の品質改良にも亦妨となる。

然しながら最も正教派に屬する回々教徒の感受性をも害する事無しに、選まるべき改良手段あり。家畜品種改良は印度政府監督の下に、養育及酪農場の一角以上の方面より行はるべしと云はれた。ブサに於ての牛種改良は兩方面から行はれた。即ち第一に、印度内採乳用牛の品種を向上せしむる事及外國品種なる種牛を輸入して混合種を作出する事である。又各地方農務部に於ても同様な努力ありたり。

又芻草の供給を潤澤ならしめるために及現在に棄て、顧り見られざる之等の芻草を一般に普及するために相當の手段が講せらる。印度牛の大部分は營養不良であり又貧弱なるストック及近接結合其他の缺點に加ふるに勞働力の不足せるのである。家畜病に對しては農務部に於て從來の無智な慣習及根強き自食に對して戦ひつゝある。印度に於ける家畜飼養者は若し家畜病が發生すれば其の家畜をば他村に運び去る。然して之が病氣傳播の法たる事を知らざるなり。其れ故家畜飼養人が病氣發生の際には直に通報する事及即時遮断の必要を痛感せざれば年々の發生は、牛を減滅せしめ、又引いては農業の將來を危険ならしめる源として永久に残るものなのである。

レッディング卿は印度農業の將來を論じられて次いで全印度農業團體を設立せんと政府は考慮中であると云はれた。此の團體は地方各農務部の合一的活動に便ならしめ、調査及農業教育を促進し、地方の進化に資し且全印度を通じての農業宣傳の仲介機關たらしめんとする使命を持たしめられるのである。

必ずや、印度棉花の進歩及市場擴張のため Central Cotton Committee が設立せられあると同様に、斯の如き機關出現すべく豫期されるのである。確立的な計畫が出来ない以前に十二日ブサに於ける年會に於て印度農務部は地方政府の見解を考慮に入れるものと見らる。然して年會に

於ては現在部地方代理に加ふるに各地農務局長の出席を許すものと看らる。

(Times Trade and Engineering Supplement, Aug. 29, '25)

### □緬甸の發展策—外資輸入の必要

緬甸の隠れたる資源は全印度何れの地方に於けるより多分大なるものなるべし。緬甸は油・材木・銀・鉛・錫・オルフラム・油頁岩・護謨に富み、而も米は世界に於ける最大輸出國なり。然るに緬甸の富源は一因として資本の缺乏又特に交通機關不備の爲め開發せらるゝことなく放棄されあむ。又蘭貫、パーモ間の運搬は困難多くして且失費多し。然して其が事實なる間商業及經濟的發展は阻止せらるべきなり。

然れども之を數年前と比する時は寧ろ敏速なる發展を遂げたものなりと云ふを得べし。緬甸は最近著手せらるゝ完備せる道路計畫を有し、此に對して莫大なる資本支出せらるゝ筈なり。勿論此道路計畫が完結する迄には數年を要すれど、將來之により同國が跳躍的な發展を遂ぐべき事は明瞭なる事實なり。其以前に於ては印度政府は緬甸に對し特別の興味を感ずる事なく又充分なる開發資金も供給せざりき。改造計畫の結果として時勢は移り、緬甸は其利益を死守するのための、從來より自由を有するに至り政府は從來見ざる非常なる寛大さを示めすに至れり。即ち極最近に至りて、政府は緬甸に完備せる鐵道計畫を許可せるも此一例なり。此鐵道計畫は

ターヴオイ及メルグイなる鑛業及護謨栽培中心地を通過しムールメインより暹羅國境に至る幹線を含みて居るものなる故暹羅との交通は開始せられ新嘉坡に至る海峽植民地との鐵道交通は成るものなり。

### 鐵道擴張

若し此の計畫通りになるものとすれば現在より五年以内に完成し産業及農業發展に資する事大なるべきこと勿論なり。然して將來の外資は同國が組織よき且管理よき會社に充分なる利益を與ふるものなる故漸次増加すべし。實際現在に於ては資本の大部分は蘭貫に於て米木材其他重要なる商品の獨占權を有する歐人會社によつて供給せらるゝものなり。然るに其資本が彼等の企業の爲めに使用せられざるものなりとせば、緬甸人に採りては採算上非常に不和なりと云ふべし。商工業の企業豫想は洋々たるものにして、年と共に其前途は増々光輝を放つべし。然るに一方緬甸政治家は其日の早く來らんことを熱望せず、寧ろ保守的なりと看測さる。其政治家の開發の早きを喜ばざる理由として彼等は若し緬甸の富源が外資によつて開發せらるゝものなりとせば、其れによる利益は配當と共に海外に送らるべしと云ふ。然も彼等は彼等が同國を開發すべき資金を有せざることを自認し、配當が緬甸及其住民の爲めに同國內に保たれて海外株主による徒費を防ぐ日の至る日を待つといふが彼等の政策なり。實際彼等の政策たるや實

に一を知つて十を知らざるものと云ふべく歐人會社による賃金及税金の支拂の爲め緬甸人の潤を受くるを過觀せるものと云ふべし。

最近州知事 Sir Harcourt Butler は其演說中に此有實なる歐洲人會社の存在なくば緬甸住民の頭に懸る税金は凡そ破壊點に達すべしと統計を擧げて説明せられたり。故に緬甸政治家連の意向は如何なりとも、緬甸は満足に外國資本なくして發展せざるべし。

製糖業

資本の流入ある事は疑もなき事實にして、最近マンダレイに於て開催せられたる Conference of Agricultural and Cooperative Conference に於て議長は資本の一部が如何に利益を見て使用せらるべきかを指示せり。緬甸或る地方は全く甘蔗栽培に適し居れども、製糖業を盛大ならしむる爲めにはキューバ及爪哇にて採用せらるる中央工場制度を採用する必要あり。斯くするためには莫大の資本を要すれども現在迄は此方面に投下せられし資本殆どなかりき。

緬甸を含む印度は世界に於ける有數なる砂糖輸入國なり。故に緬甸製糖の市場は實に宏大なるものなれば、緬甸製糖業發達可能性は充分なりと云ふべし。暫時の間ブイナマナ及トンゴに於て粗末なる設備の下にて製糖されつゝあり。現在の状態にて純利は一二〇留比より三〇〇留比(甘蔗栽培地一英反當)あり。實際此産業は最り以上利益を見る筈なれども栽培者が借金を

なし居るため貸主の剪定を受けることあればなり。斯の如き状態なれば若し製糖を大規模に且つ適當なる方法を以てすれば必ずや多大なる利益を見るは當然の事なりと思惟す。

古々椰子

其他有望なる産業マンダレイに於て提議せられたり。會議に於て提議せられしは古々椰子の大規模なる栽培なり。此の椰子は緬甸、中にもターゾイ及びメルグイ地方の沿岸に於て宏大なる範圍に亘り完全に繁茂す。現在に於ては需要に應ずるに足る充分に成長せる古々椰子未だ存在せざるため一、〇〇〇、〇〇〇留比の古々椰子實年々輸入せらる。加之、彼南及新嘉坡より印度に向け大量の輸出ある状態なれば若し緬甸が充分に生産し得るものとせば、低廉なる運賃なる點よりして彼南及新嘉坡よりの輸出を横取りし得べし。然して緬甸に於て充分に産出し得るに至るべきは疑無き所なるも、大範圍に亘つて古々椰子を産出せしむるためには資本を必要とす。然るに緬甸に於ては之を缺ぐのである。古々椰子の収益を齎らすは六年乃至十年なれば普通栽培者にて古々椰子に投資するは困難中の困難なるべし。一度古々椰子の植付を済ますれば栽培上の注意としては唯除草のみなれども或る地方に於ては甲蟲の侵害を注意せざるべからず。若し之の侵害を許すときは急速なる勢にて繁殖し利益を見得ざるは勿論、資本をも盡無しにするものなり。古々椰子栽培の利益は一英反當十弗なり。

緬甸に於て人の開發を待つ産業は此外多くあれども本稿に於ては單に砂糖及古々椰子に止む。之等産業は責任ある團體にして、完壁せる考慮を以て提議をなすマンダレー Agricultural and Cooperative Conference によりて注意を促されしものなり。

(The Times Trade and Engineering Supplement, Sept. 12, 1935)

其他 □世界護謨の需給關係と價格問題

世界に於ける護謨の取引は其れが理論上普通にとるべき價格の問題に關して依然行僣んで居る。若し之れが簡單に推論して行けるものならば護謨の價格(概算)は一封度一弗内外となるであらう。此一封度一弗と云ふのは戰前護謨の平均價格に一般物價の騰貴率を乗じたものである。然るに護謨は戰前ですら相場の下向を示した商品である。此れは重に生産の方法が改良され且つ廉價になつたのに由る。其結果、護謨は世界市場に甚だ廉價に供給せられた。更に一九二〇—二一年の恐慌は世界の護謨業に非常な刺戟を與へた。さり乍ら農業産物には報酬漸減の法則が頗る巧に價格の調節をする。何となれば少量の産額ならば甚だ廉く生産せられる。けれども一端需要が増大する時に各生産業者は勢ひ生産量を多額にせんとして貧弱な土地に迄栽培をするに至つて此處に經濟は成立たない。其結果は生産費の高い貧弱農園に栽培して丁度引合ふ位

に價格が上らなければ之等農園の經營は行はれない。従て其れだけ護謨は世界から減少せられる事になる。

然らば護謨に對する眞の需要額如何を考へるに、之れは容易に解決せられる問題ではない。今此點に就て米國の状態を一瞥して見たい。即ち一九二四年空氣入り護謨輪の製造高は其輸出額より五分多い。一九二三年には略々製造、輸出共に同額を示した。而して本年一月—五月間に於ける製造量はレコードに達し輸出額も亦同様である。先年十二月以來の棚卸有高は眞に増加して居る。之れは例年の傾向であるが昨年十二月棚卸高に對する本年五月の増加本數は百六萬六千本にて昨一年間を除いた一九二二年後の何れの同時期より少ない。又四月末の棚卸有高が從來のレコードを示して居るのに拘らず五月のは一九二四年同期に比して若干増加し更に一九二三年五月に較べて著しく減退して居るのは頗る興味ある問題である。高壓中部の商況は引續き良好であるが、其製造高は輸出額に足らない。従て棚卸高には定期の増加が擧らず、本年五月有高は一月よりも少なく、更に前二箇年同時期に於けるよりも少ない。尙ほ又本年五月に於ける護謨タイヤの有高は一九二二年來の最少レコードを示して居る。

上述した所は又同時期に於て商業用及乗客用自動車の増加著しかつた事を念頭に於いて考へなければならぬ。唯に之れは自動車・貨物自動車・乗合自動車の總價額が増加したばかりでは

なく、絶えず道路改良せられ、旅行者の夥多に郊外居住者の増加によつて、如實に乗用車数の増加して居る事である。其結果は各鐵道驛長が其報告に乗客の減少を自動車の増殖に歸して居るのに依りて明である。さて此處に自動車タイヤの壽命の問題が起つて來る。而して其耐久力が強くならなければ世界の護謨消費量は遠からず現在の四十五萬噸より百萬噸に達する見込である。

世界の需要額として擧げた前記數字は次の事情を知る事に依りて容易に首肯せられる。

即ち米國は一九一八—二四年間連年世界護謨産額の六割八分を消費し一九二四年に於ては約八割を消費して居る。就中タイヤの製造に供する額は最も大である。一九二三年の算定によれば護謨製造工業に要した原料代は四億九千八百萬弗であり、其中護謨タイヤ及中部の製造には三億六千八百萬弗即ち殆んど七割四分を消費して居る。戦後の最好況時に於て乗客及貨物自動車用中部の製造高は三千二百八十萬本、之れが一九二三年には四千五百四十萬本に達して居る。一九二四年には恐らく從來のレコードを突破するであらうと觀察されて居る。

さり乍ら此の様に製造高はレコードを破つても一方どん／＼消費せられ行く爲めに少しも製造者のストックにはならない。而も米國の輸入額が僅に消費増加額の約一半しか殖えて居らないのを見る時ストックの無い事は直に明瞭である。

次に世界に於ける増産可能量を見るに本年四月倫敦に於ける集會席上護謨栽培業者協會々長 H. E. Miller 氏は十方噸内外と概算し居るも予一個人の觀察によれば前記數字の半餘に過ぎず、従て全世界供給可能量は四十六萬乃至五十萬噸と目せられる。然れども世界の産額は未だ曾て同額に達したること無し。昨年の産額は四十一萬五千噸である。本年蘭領東印度よりは約二萬噸を増産するであらう。

戦前ブラジルは平均四萬噸を産出した。けれども數年來其半餘に減少して居る。又一九〇〇年來と雖も曾て年五千噸を増加したる事は無い。一九〇五年バラ護謨の相場が平均一弗十仙—一弗二十五仙(此相場は一封度七十二仙から上つて二箇年間繼續した)に上つた時其産額は三萬乃至三萬五千噸に増加して居る。其理由は詳である。樹液の滲出が止つた時に其等の護謨園は手放される。而して其土地は焼拂はれなければならぬ。而して一端見棄られた農園が再び採液せられる迄には非常な努力を要す。然し之れは單に滲出量の問題ばかりでなく労働者の少ないのに原因する。依是觀之、ブラジルは再び米國に多量に護謨を輸出する可能性を有す。而も同國にして二萬五千噸を産出する時は世界産額の五分にしか當らない。又他の諸國より野生護謨の生産は昨年度産額の三千五百噸の二倍即ち七千噸を得べき模様である。

斯くて本年の産額は前年度より最大二萬八千五百噸を増加するものとすれば前年四十一萬四

千七百噸から大約四十四萬三千噸に増える事となる。之れを五十萬噸に上せやうとすれば勢ひ英國の生産制限による産額を約六萬噸増加しなければならない。然るに之れは果して可能であるか又英國の護謨産業に對して利益であるか頗る疑問である。譬へ五十萬噸を産出するとしても護謨の供給、從てストック及需要に對し普通の状態に達する事は殆んど難しい。

昨年度の世界消費額は三十八萬五千噸であるが少くとも本年は五萬噸を増加する。先に米國は世界産出護謨の七割五分を消費して居ると云つた。今米國が假に三十八萬五千噸を消費するとすれば全世界では五十一萬噸を必要とする。其超過した部分はストックから仰がなければならぬ。然るに現在ストックが普通の量に達する迄には中々容易で無い。スチヴンソン委員會の設置後護謨ストックの割合は略二十二萬五千噸内外と稱せられてゐるが、實際一九二三年六月に於ける世界のストックは二十五萬五千噸を示して居る。而して予は普通のストックとして平年産額の二割即ち十萬噸を適當とする。之れは寧ろ見積低下に陥つてゐるかも知れぬ。現在の産額の状況と著増しつつある護謨の用途に考へて世界の護謨需要額を算定する事は又今後數年内にストックの蓄積を見る事は困難であらう。

(The Annalist, Aug. 21, '25.)

□一九一八—二三年以降英領馬來護謨栽培面積表 其二 (單位英反)

地 方 別	一九一八年	一九一九年	一九二〇年	一九二一年	一九二二年	一九二三年
馬來聯邦州	二五〇九	二六五四	二五八五	六二六	三九七	二八〇
柔佛	一七七七	七三九	四八七	一〇七五	四三五	九〇四
ケダ			八九	七六	四四	三三
ケラ						
トレンガヌ						
小計	四七六	三、〇〇	二、三四	一、七三	八七六	二、二七
合計	九、一五四	五、四三三	五、八〇	六、五七六	二、〇三七	三、二五八

備考 \* 豫想

本表數字は總て面積百英反以上の農園に限る。  
本表は九月四日馬來聯邦州官報に據る。